

各位

会社名	株式会社昭文社ホールディングス
代表者名	代表取締役社長 黒田 茂夫
(コード番号)	9475 東証スタンダード)
問合せ先	取締役管理本部長 加藤 弘之
T E L	0 3 - 3 5 5 6 - 8 1 7 1

## 2026年3月期通期連結業績予想と実績値との差異及び 個別業績の前期実績値との差異のお知らせ

当社は、2026年3月期決算におきまして2026年2月9日に公表の2026年3月期通期連結業績予想と本日公表の実績値との差異ならびに2026年3月期の個別業績と前期実績値との差異につきましてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 通期連結業績予想と実績値との差異

##### (1) 2026年3月期連結業績予想と実績値との差異 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,650	250	270	100	5.51
当期実績(B)	6,727	475	670	1,210	66.83
増減額(B-A)	77	225	400	1,110	
増減率(%)	1.2	90.4	148.1	1,110.7	
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	6,256	189	298	541	29.78

##### (2) 差異の理由

売上高につきましては、昨年に続き旅行・観光需要の回復基調が継続したことにより、市販出版物および電子書籍・アプリを中心に売上が堅調に推移した結果、前回発表予想を77百万円上回りました。

損益面におきましては、修繕費および雑費等先送りにより売上原価および販売費及び一般管理費が下回りました。この結果、営業利益は前回発表予想より2億25百万円増加いたしました。

また、受取配当金の増加及び為替差益等を計上したことにより経常利益は前回発表予想から4億円の増加となりました。

加えて、本日公表の「法人税等調整額(益)の計上に関するお知らせ」で公表しました法人税等調整額(△は益)を△7億32百万円計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表予想を11億10百万円上回る結果となりました。

## 2. 個別業績の前期実績値との差異

### (1) 2026年3月期個別業績と前期実績値との差異（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A) (2025年3月期)	百万円 1,361	百万円 92	百万円 212	百万円 497	円 銭 27.34
当期実績(B) (2026年3月期)	1,447	238	445	1,075	59.37
増減額(B-A)	85	146	233	578	
増減率(%)	6.3	158.3	110.0	116.4	

### (2) 差異の理由

不動産事業が順調に推移したことにより、売上高は14億47百万円（前期比85百万円増）となりました。

損益面におきましては、前期に発生した本社修繕費用が消失したことにより、売上原価が減少いたしました。

この結果、営業利益は2億38百万円（前期比1億46百万円増）、経常利益は受取配当金の増加や為替差益等の計上により4億45百万円（前期比2億33百万円増）となりました。

また、税効果会計の精緻化に伴い法人税等調整額（△は益）△1億28百万円を計上したこと等から、当期純利益は10億75百万円（前期比5億78百万円増）となりました。

以上